

特別全国障害者スポーツ大会「燃ゆる感動かごしま大会」リハーサル大会  
兼 特別全国障害者スポーツ大会九州ブロック予選会  
兼 第 60 回九州視覚障害者グランドソフトボール大会鹿児島大会  
グランドソフトボール競技実施要領（案）

## 1 競技規則

令和 5 年度に適用の全国障害者スポーツ大会競技規則（公益財団法人日本パラスポーツ協会制定）によるもののほか、この要領の定めるところによる。

## 2 チーム

- (1) チームの構成は、監督 1 名、選手 15 名以内（男女は問わない）とし、他に専任のコーチ 4 名以内、スコアラー 1 名及びマネージャー 1 名を設けてもよい。
- (2) 監督が選手を兼ねる場合は、選手名簿に登録されていなければ選手として出場できない。この場合の選手の人数は、選手を兼ねる監督含め 15 名以内とする。

## 3 競技方法

- (1) 試合は、鹿児島県チームを除くトーナメント方式とする。また、トーナメント戦以外に鹿児島県チームを含めた交流戦を実施する。
- (2) 試合時間は 90 分とする。  
7 イニング制とし、試合開始後 80 分を経過した後は、新しいイニングに入らない。
- (3) 同点の場合は、制限時間において延長戦を行う。それでも同点の場合は、正式引き分け抽選により勝敗を決する。
- (4) 指名打者（DH）及び再出場（リエントリー）を採用する。
- (5) 試合球は、全日本グランドソフトボール連盟公認球とし、主催者が用意する。

## 4 服装等

- (1) 同一チームの監督、コーチ及び選手は、同色・同意匠のユニフォームを着用しなければならない。
- (2) ユニフォームナンバーは、背中と胸下につけなければならない。監督は 30 番、専任のコーチは 31 番から 34 番、主将は 10 番とし、他の選手は 1 番から 99 番の番号とする。  
また、ユニフォームの左袖に県・指定都市名を表示すること。
- (3) 競技中、コーチズボックスにいるランナーコーチは、黄色の帽子を着用すること。
- (4) スコアラー及びマネージャーは、ユニフォームを着用してはならない。
- (5) 金属製スパイクの使用は禁止する。

- (6) 危険防止のため、競技中の選手（コーチを含む）は、腕時計、ブレスレット、ネックレス等、危険と思われるものを着用してはならない。

## 5 組合せ

組合せは、令和5年2月（予定）に開催する第76回九州盲人福祉大会（佐賀大会）において、参加チームが抽選の上決定し、燃ゆる感動かごしま国体・かごしま大会実行委員会に結果を報告する。

## 6 打順表等

- (1) 打順表は、試合開始時刻30分前までに5部作成し、競技会場の競技本部へ提出する。  
なお、打順表は監督会議において競技本部から配布する。ただし、第1試合は開始式終了後に提出すること。
- (2) 攻守の決定は、打順表提出時に審判員立会いの下、決定する。

## 7 開始式・表彰式

- (1) 開始式は、競技開始前に競技会場で行う。
- (2) 表彰式は、競技終了後に競技会場で行う。

## 8 出場権

この大会の優勝チームは、特別全国障害者スポーツ大会への出場権をえる。

## 9 その他

- (1) 監督会議は、当日現地で行う。  
なお、監督会議の時間及び場所については別途通知する。
- (2) 監督会議では、あらかじめ主催者と協議した事項について、大会申し合わせ事項を設けることができる。
- (3) ベンチは、組合せ表の番号が若いチームを1塁側とする。
- (4) ベンチ内へは、監督、コーチ、選手、スコアラー、マネージャー以外は入ることができない。
- (5) 競技場内へは、主催者の許可を受けた者以外は立ち入ることができない。
- (6) アイシェード、全盲プレイヤー標示物、黄色標示物、コーチ用帽子及び練習球は、各チームで用意すること。
- (7) 練習場所については、主催者からの指示に従うものとする。
- (8) 少雨の場合は決行するが、荒天時他不測の事態が生じた場合等の取扱いは、主催者において別途決定する。
- (9) 参加者は、主催者が定めた新型コロナウイルス感染症対策に関するガイドラインを

遵守すること。